

管理番号

東京都、墨田区



**我が家の
水害リスク診断書**

〒 000-0000
墨田区〇〇一丁目2番3号

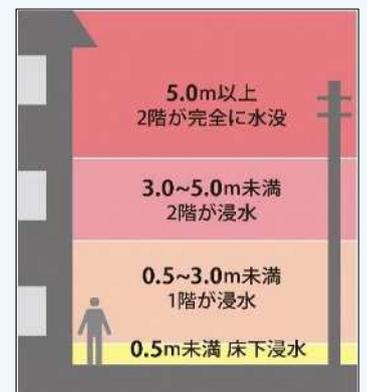
東京 太郎 様

1. 水害リスク診断結果

ご自宅の住所	墨田区〇〇一丁目2番3号
水害リスク診断結果	ご自宅の地域には水害リスクがあります。

主な水害リスク※1	荒川の洪水	高潮
①浸水の深さ※2	5.5 m	5.0 m
②浸水継続期間※3	28 日間	7日間以上
③堤防の決壊等により家屋倒壊・流出のおそれのある地域に該当	該当する	

※2 目安(①浸水の深さ)



※1 主な水害リスクは、堤防決壊等により最も被害が大きい場合を記載しています。

※2 ①の浸水の深さは、地面から水面までの高さです。

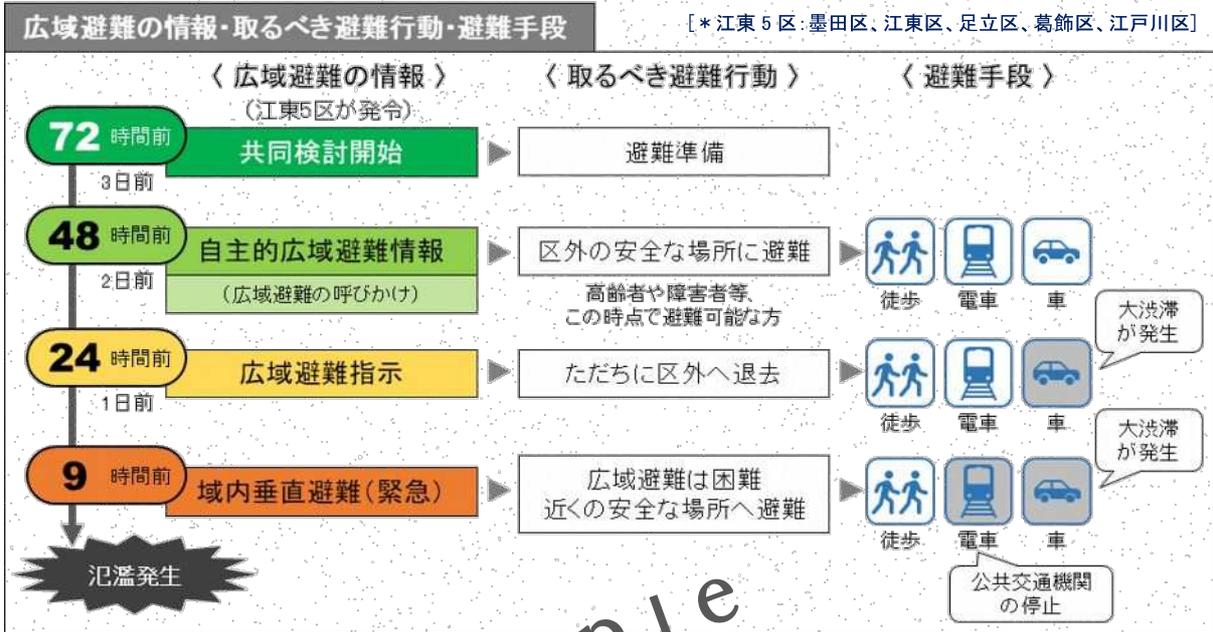
※3 ②の浸水継続期間は、浸水の深さが 50cm を超えて①の深さに達した場合、再度 50cm を下回るまでにかかる日数です。

2. 水害リスク診断結果を踏まえた推奨されるあなたの行動

<p>【①浸水の深さ】で、自宅に浸水せずに安全を確保できる部屋が</p> <p>→ なし</p>	<p>自宅の外への避難が必要！</p> <p>以下のことを事前に決めておきましょう。</p> <p>○避難先</p> <p>○避難のタイミング</p> <p>大規模な水害発生のおそれがある場合、区内の避難所も浸水することがあるため、広域避難(浸水しない区外への避難)等が必要となります。</p> <p>→右面の ポイント1 を参照</p>
<p>↓ あり</p> <p>【②浸水継続期間】の間、自宅で通常の生活(食料・トイレ・医療等)が</p> <p>→ できない</p>	
<p>↓ できる</p> <p>【③堤防の決壊等により家屋倒壊・流出のおそれのある地域に】</p> <p>→ 該当する</p>	
<p>↓ 該当しない</p> <p>自宅避難(在宅避難)も可能</p> <p>日頃から多くの水や食料等の十分な備蓄が必要です。</p> <p>→右面の ポイント2 を参照</p>	

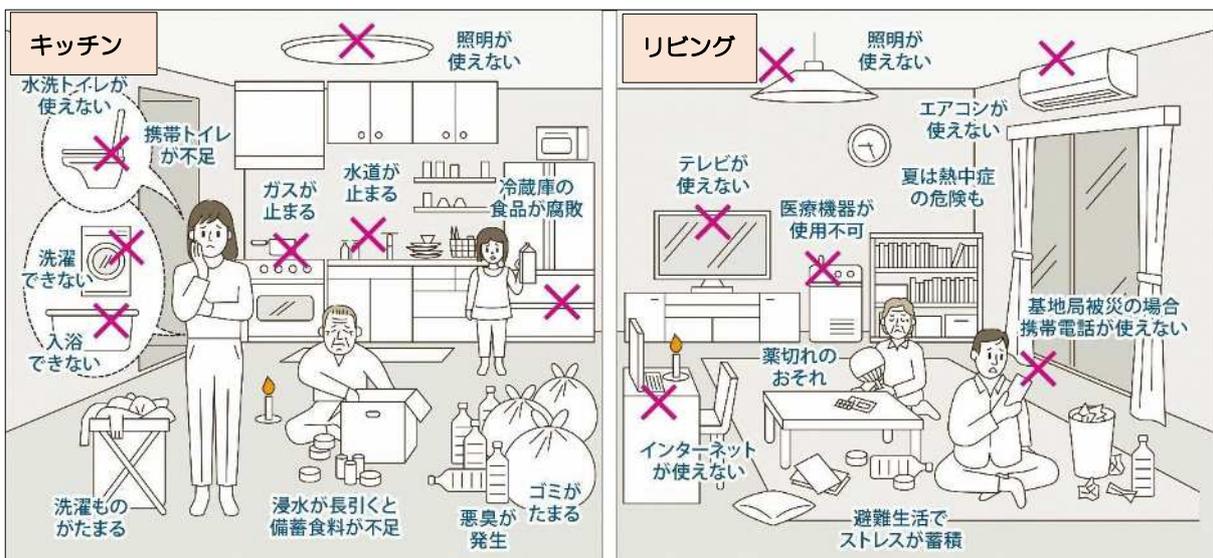
ポイント1 大規模な水害発生のおそれがあるとき、「広域避難」が必要になる場合があります。

巨大台風や大雨による大規模な水害発生のおそれがある場合、江東5区*共同で、約3日前(72時間前)より段階的に**広域避難(浸水しない区外への避難)**の情報を発令します。広域避難の情報に合わせて、**天候が晴れていても、早めの避難行動を実施しましょう。**



ポイント2 自宅避難(在宅避難)した場合の生活環境と備蓄について

水害で浸水すると、**ライフライン(電気・ガス・水道等)**が**長期間使えなくなり**、生活にさまざまな支障をきたします。そのため、自宅避難(在宅避難)する場合は、水や食料等の十分な備蓄が必要です。必要な備蓄については、裏面右側の「主な備蓄品目」をご確認ください。



高齢者や障害者等の避難に際し支障のある方へ

- 自宅の外へ避難する場合には、親戚・知人宅・宿泊施設など、避難所以外の安全な避難先をあらかじめ確保して、早めに避難するようにしましょう。
- 自宅にとどまる場合は、備蓄品の他に、薬なども十分に備えておきましょう。

避難のタイミングなど、水害に関する詳しい情報は、お住まいの区の公式ホームページもご確認ください。

Q&A よくある問合せ



Q1 なぜ「我が家の水害リスク診断書」が自宅に届いたのですか。

各区の作成しているハザードマップ等で、皆さまのご自宅等に想定されている水害リスクと、推奨される避難行動について知っていただくために、今回お届けしました。対象地域は、江東5区（墨田区・江東区・足立区・葛飾区・江戸川区）の「想定される浸水の深さが5m以上」または「家屋が倒壊する等のおそれ」のある地域の世帯です。

Q2 この診断書を受け取って、何か準備をすることがありますか。

事前に避難先を確認するなど、ご家族等で話し合い、避難計画の準備をお願いします。その際、「東京マイ・タイムライン」など自治体の作成している避難用ツールを活用してください。

東京都防災アプリのDLはこちら
(アプリ版「東京マイ・タイムライン」を搭載) >



Android版



iOS版

Q3 これまで大きな水害は発生していないので、大丈夫なのではないでしょうか。

近年、大規模な水害が発生していない地域でも、河川の氾濫や東京湾の高潮によって甚大な浸水被害が発生する可能性があります。ぜひ、このお知らせを参考に、ご自宅等の水害リスク等をご確認下さい。

Q4 高層階に住んでいるとしても、自宅外へ避難する必要がありますか。

たとえ浸水しない階層であっても、電気・ガスなどのライフラインが長期間停止する可能性がありますので、必要な備蓄を用意しておくか、自宅外の安全な場所への避難を検討しておきましょう。

Q5 どこに避難すればいいですか。

まずは、浸水のおそれのない親戚や知人宅、宿泊施設などへの避難を検討しましょう。こうした避難先の確保が難しい方のために、自治体が発信する広域避難先の開設状況を確認し、早めに避難しましょう。

Q6 車で避難できますか(ポイント1を参照してください)。

自治体から広域避難指示が発令された後では渋滞が発生し、避難が間に合わないおそれがあります。車による避難が必要な方は、お住いの区から広域避難指示が発令される前に避難を開始してください。発令後は、鉄道等の公共交通機関を利用して避難しましょう。

Q7 広域避難を呼びかける情報はどのように発表されますか。

広域避難は、台風上陸の約3日前から江東5区で検討を開始し、各区が段階的に情報を発信します(診断書表面右ページのポイント1参照)。各区の防災行政無線やホームページ、Twitterなど様々な手段で発信しますので、詳しくは各区のホームページでご確認ください。

その他のご質問については、我が家の水害リスク診断書に関する質問に自動でお答えするチャットボットを用意しています。

また診断書をご覧いただきご意見等ありましたら、アンケートにてお答えください。

右記二次元コードよりアクセスしてご利用ください。



アンケート



チャットボット



主な備蓄品目

診断書の内容も踏まえ、必要な備蓄品と数量を考えてみましょう！



- 夫婦と乳幼児、高齢女性1人の4人家族で、戸建て住宅にお住まいの例
 ※以下の表はおおよそ3日程度の目安量です。
 ※必要な備蓄品・数量は家族構成やお住まいにより異なります。

分類	日常使い (常にキープしておく分)	数量
食品等	水	1人1日3L
	無洗米	4kg
	レトルトご飯	27食
	乾麺 即席麺	3パック
	缶詰(さばの味噌煮、野菜など)	9缶
	果物の缶詰	3缶
	レトルト食品	9個
	野菜ジュース	9本
	飲み物(500ml)	9本
	チーズ・プロテインバー等	3パック
	お菓子	3パック
	栄養補助食品	9箱
	健康飲料粉末	9袋
	生活用品	ポリ袋
ラップ		1本
アルミホイル		1本
ティッシュペーパー		4箱
トイレットペーパー		4ロール
点火棒		1本
布製ガムテープ		2巻
軍手		9組
ビニール手袋		1箱
衛生用品		救急箱
	マスク	9枚
	常備薬	1箱
	除菌ウェットティッシュ	120枚
	使い捨てコンタクトレンズ	1人1か月分
	アルコールスプレー	2本
	歯磨き用ウェットティッシュ	90枚程度

分類	日常使い (常にキープしておく分)	数量
女性	生理用品	30個セット
	基礎化粧品	適宜
乳幼児	粉ミルク スティックタイプ	18食
	液体ミルク	18食
	アレルギー対応 離乳食	9食
	お尻拭き	3パック
	おむつ	30個
	使い捨て哺乳瓶	18個
高齢者	おかゆ	9食
	補聴器用電池	適宜
	入れ歯洗浄剤	12錠

災害に備えて準備し、定期的 に使用確認などを行うもの	数量
カセットコンロ	2台
カセットボンベ	8本
携帯トイレ	45回分
懐中電灯	2灯
LED ランタン	最低3台
ヘッドライト	4個
乾電池	適宜
手回し充電式などのラジオ	1台
携帯電話 充電器	適宜
リュックサック	1個

東京 備蓄ナビ

東京備蓄ナビで、自分に合った備蓄を調べてみよう！

(右のQRコードよりアクセス)

